

キレイに使おう

マンホールトイレ



マンホールトイレとは？

災害時に、下水道管につながるマンホールの上に簡易な便器、ハウスを設置して使うトイレです。

下水道管に直結しているため、汲み取り式のような悪臭がしにくいことがメリットです。

マンホールトイレを使う前に

マンホールトイレは下水道施設の被害状況が確認できるまで、使用することができません。

発災後、市ですぐに確認しますが、被害がないことを確認ができるまでは、トイレ処理剤を使った簡易トイレ等を使う必要があります。

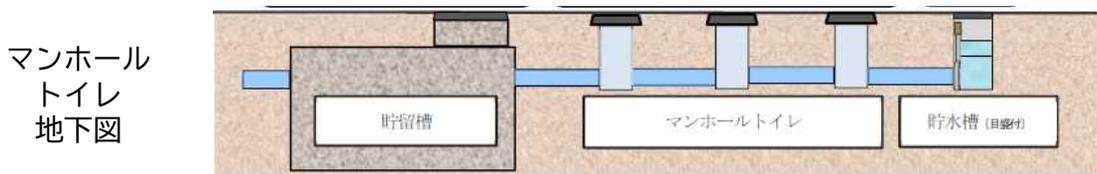
簡易トイレは市でも備蓄していますが、必要な個数等は個人によって変わってくるため、各家庭でも備蓄するようにしましょう。

マンホールトイレの仕組みって？

プールの水等を貯水槽から流し込み、マンホールトイレの下部に溜まったし尿を一気に貯留槽まで押し流します。

下水道施設に被害がない場合は、し尿はそのまま貯留槽を通り過ぎ、処理施設まで流すことができます。

下水道施設に被害が生じている場合は、し尿を貯留槽に3日間程度溜めることができます。この場合は定期的に汲み取りをすることで継続的に使用することができます。



※ (株)クボタケミックス「災害用トイレ配管システム下水道直結貯留型の使い方」より抜粋

マンホールトイレの運用について

マンホールトイレの設置や、清掃等の管理運用は、**避難所に居住する避難者**が行っていきます。

平常時は訓練等に参加して、トイレハウスの組立方法や、仕組みについて学んでおきましょう。

また、避難所でマンホールトイレを使うときは、清掃当番等を決めて、みんなで協力し、清潔なトイレを保てるようにしましょう。

「自分たちで使うトイレは自分たちでキレイに」という意識を持ちましょう！